

## 水曜会誌 13 (1956) 3

鉄系含油焼結金属の熱処理に関する研究 (I) 西村秀雄…135~138

鋼浴の脱酸反応  $Al_2O_3(s) = 2Al + 3O$  の平衡恒数の熱力学的計算. 沢村 宏…142~144

## 東北大学研究所報告 8 (1956) 3.

Thermodynamic Activities in Iron-Cobalt Solid Solutions. T. Satow et alii. … 502~510

Fluidized-Bed Roasting Pyrite. M. Watande et alius. …511~531

## 機械試験所所報 10 (1956) 6

塩基性転炉法による脱クロムの研究. 田中竜男外…230~236

## — 会社刊行誌 —

## 富士製鉄技報 5 (1956) 4

返鉄の焼結作業に及ぼす影響について. 渡辺秀夫外…358~365

銑鉄のチル化について. 鳥取友治郎…366~375

鋳物銑の諸性質におよぼす微量元素の影響 (Ti の影響について) 恵藤文二…376~385

広畑 6 号均熱炉増設工事について. 野田郁也外…404~415

鋼の酸素分析試料の採取法について. 鶴野達二外…426~434

## 日立評論 38 (1956) 11, No. 418

ダクタイル銑鉄の耐熱性について. 河本昭治…1437~1443

## 電気製鋼 27 (1956) 5

Cr-Mo 肌焼鋼の焼準及び恒温焼鈍について (1) 保田正文外…227~237

炭化珪素質取鋼煉瓦の実用試験. 錦織清治外…238~243

バルブ鋼の研究 (2). 錦織清治外…244~256

## — 科学技術庁金属材料技術研究所 —

本年 7 月 7 日より発足した総理府科学技術庁金属材料技術研究所 (略称: 材技研, 英文名 National Research Institute for Metals; 英文略称 N. R. I. M) は 11 月 2 日より東京都目黒区三田 13 番地旧海軍技研 (エビス, キャンプ) 跡に移転した。なお同所の所長は橋本宇一, 研究官小川芳樹, 部長は小西芳吉, 河田和美, 柳原 正, 遠藤勝治郎の諸氏である。電話は 大崎 (49)4525~9。

## — 鉄鋼ニュース —

(86 頁よりつづく)

## 矢作製鉄の酸素製銑炉

矢作製鉄では, 硫酸滓を原料とし銑鉄を得ると同時にアンモニアガスを併せ得る各種方式につき研究中であったが, 経済的にみて低炉による酸素製銑が最も有利であるとの結論をえたので, 近く総工費 3 億 2 千万円を投じて銑鉄日産 35 t, アンモニア日産 40 t, の全自動式酸素製銑炉の建設に着手することになった。

この方法の要領は, 焼結した硫酸滓とコークスとをトップチャージし, 羽口から酸素含有量を 50% 以上とした冷風を吹き込み製銑するというもので, これと同様の方式は欧州各国でも実用の気配にあり, また国内でも数社が試みているが, いずれもガス捕集を目的としているため銑鉄は実用できない状態で, ガス, 銑鉄ともに商品として利用するのは同社が初めてといわれる。